



### かんさいの のりもの

ご当地で活躍するおなじみの乗り物を紹介する地域別のりものシリーズ！

1〜3 歳向けの写真絵本で、身近なものに興味を持ち始めたこどもたちに学ぶ喜びを与えられる1冊です。

◆大阪、京都、神戸を中心に、こどもに人気のある関西の乗り物を一挙に紹介。

◆新幹線や電車だけでなく、バスや飛行機、モノレール、ロープウェイなど、関西で見られるバラエティ豊かな乗り物を迫力ある写真で掲載しています。



### ごはんたいそう

五味ヒロミ/わたなべあや

1,2,3,4,ごはんのリズムで、からだもこころも動き出す♪ やさいにたまご、ソーセージ、みんなとごはんを食べる準備たいそう！ 1,2,3,4,ごはん！のかけ声で元気にごはんを食べられる、生活と食育の絵本です。



### そうっと そうっと 田中友佳子

こぶたくんがはじめてやいたケーキ。しょうずにできたので、たぬきくんにも持っていくことにしました。

切り分けたケーキをお皿にのせると、たおれそう…。でも、たおさないように、集中して、そうっと、そうっと歩いていきます。

ケーキに集中、そうっとそうっと…。

こぶたくんは、ケーキだけを見つめているからまわりが見えません。

主人公は気がつかないけれど、まわりでおこっているできごとを読者が楽しむ、ユーモアあふれる、絵をよむ絵本。

### 麦ちゃんのめがね

最上一平/かつらこ

麦ちゃんが目がわるいことに気がついたのは、ママでした。いっしょにめがね屋さんに行って、フレームがうすいすみれ色のめがねを作りました。あした学校でなんていわれるかしら…。引っ込み思案な麦ちゃん。でもめがねをかけると…。繊細な麦ちゃんがどくとくの視点で、クラスのお友だちそれぞれをあたたく見つめる物語。



## はまでら4つのや図書館

# 2026.7月の新着本より



### だれのパンツ? シゲリカツヒコ

空からおちてきた「パンツ」のもち主を探すため、団地内を冒険することになった男の子。ナゾの画家にカメレオンにおぼけに……さあ、いったいだれの落とし物だったのでしょうか。絵のどこかに、おはなしのつづきがわかるヒントがかくされているよ！ さがし絵要素も満載で、読むたびに発見のある一冊です。奇想天外な展開と圧倒的な絵の描写に、大人も子どもも夢中になることまちがいなし！



### ドラえもののひみつずかん うみのいきもの

藤子・F・不二雄/今泉忠明

ドラえもんとのび太が海の中を走れるひみつ道具「水中バギー」に乗って海を冒険し、海の生き物のひみつを大調査！

「スモールライト」で小さくなってウニの体内に潜入したり、「カメレオン帽子」で海の地中に隠れてタコの様子を観察したりと、ひみつ道具を使って楽しく海の生き物の謎やひみつを探っていきます。

写真たっぷり&オールカラーで、わかりやすく楽しく海の生き物について知っていくことのできる内容です。

### ひみつの湖

加川・イガ リ/もりうちすみこ/pon-marsh



ロンドンに引っ越したばかりのトムとステラ。

近所の犬・ハリーを追いかけているうちに、湖が広がる不思議な世界へと迷い込む。

なんと、そこは100年前の過去の世界だった！ 驚くふたりの前に、一人の少年が現れて――。

手に汗にぎるスリリングな冒険、感動のラストが詰まった極上のファンタジー！

### 書林コマドリ裏口ヨリ 久賀理世

不思議な猫に連れられてたどり着いたのは、美しい洋館〈楡屋敷〉だった。あることで声を失い、療養を兼ねて下宿生活を始めた瑛麻。一階の〈書林コマドリ〉でアルバイトをしながら、本好きの下宿仲間と二階で暮らす生活は思いもよらない出来事ばかり。猫と本、そして温かい住人たちとの出会いが、凍えた瑛麻の心を溶かしていく。本に導かれ、新しい居場所で自分の言葉を見つける感動の物語。

### 恋とそれとあと全部 住野よる

夏休み、俺は片想い中のサブレと夜行バスの旅に出た。彼女が口にした、ちょっと風変わりな目的のために――見知らぬ町で一緒に過ごすうち、そして会話を重ねる度に、サブレをもっと深く知った俺の中に名前のない感情たちが溢れ出てきて……。特別な夏の4日間が教えてくれた、恋だけじゃない、世界の「あと全部」を巡る物語。

住野よる史上、最も不器用で愛おしい恋の物語

言葉にする前の、この瞬間だけが永遠ならいいのに。

### 赤い月の香り 千早茜

「君からはいつも強い怒りの匂いがした」カフェでアルバイトをしていた朝倉満は、客として来店した小川朔に、自身が暮らす洋館で働かないかと勧誘される。朔は人並外れた嗅覚を持つ調香師で、その洋館では依頼人の望む香りをオーダーメイドで作る仕事をしている。朔のもとには、香りにまつわるさまざまな執着を持った依頼人が訪れる。その欲望に向き合ううちに、やがて朔が満を仕事に誘った本当の理由が分かり……。香りを文学へと昇華させた、ドラマティックな長編小説。

### 杏のとことこパリ子連れ旅 杏

パリに引っ越すきっかけとなった、3人の子供たちとの3回の旅。

ベビーカーは2台で、飛行機に乗るだけでもひと騒動！

博物館に恐竜を見にいったり、ルーヴル美術館に行ってみたり、思い出の公園で遊んだり。

パリに滞在するなかで、子供たちの思いがけない成長を感じ、育児スタイルを考えなおすきっかけにもなった。そんな子連れ旅の楽しさと大変さをビビッドに描く、軽やかな日記エッセイ！

### 月の立つ林で 青山美智子

長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家――。

つまずいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。

月に関する語りに心を寄せながら、彼ら自身も彼らの想いも満ち欠けを繰り返す、新しくてかけがえのない毎日を紡いでいく――。

最後に仕掛けられた驚きの事実と読後に気づく見えない繋がりが胸を打つ、心震える傑作小説。

### 大阪電車春秋 山本巧次

大阪を走る6つの私鉄。阪神・京阪・近鉄・南海・阪急・大阪メトロそれぞれの沿線で動き出す人情物語。

すれ違う親子のわだかまり、電車で見かけた同級生とはじまるまさかの恋、息子がたどる父の出生に隠された真実、通勤途中で見つけた推し活のまさかの顛末。そしてばらばらの人生が交差し、やがて一つの駅で一大阪弁で描く連作短編集。

### 重力アルケミック 柞刈湯葉

空を越え、もっと遠くへ。人類初の「飛行機」で。重力を司る“重素”の過剰採掘で膨張した地球。東京大阪間が5000キロを突破した西暦2013年。理工学部重素工学科に入学した湯川航は、古書店で一冊の本と出会う。『飛行機理論』――それは100年前に構想されたが実現せず忘れ去られた、重素を使わずに空を飛ぶ技術。「飛行機を作ろう、世界で最初の」平凡な理系大学生の無謀な挑戦の日々が始まった。飛べ、遠くへ！ 爽快な青春グラフィティ。

※版元ドットコム、Amazonより引用しています